

出穂は前年並に早い。的確な穂肥対応を！

1 生育概況

7/20	現在の生育	草丈：やや長	茎数：並	葉数の進み：並	葉色：濃い
※コシヒカリ (指標値比)		(106%)	(99%)	(+0.2葉)	(SPAD値+2.3)

- 「コシヒカリ」の生育は、草丈がやや長く、葉色が濃い状況です。またコシヒカリの出穂は前年並に早まる見込みです (5/10～15の田植では8/1頃が出穂期)。
- 「こしいぶき」の出穂は前年に比べ1日程度早いと見込まれます。(5/10～15の田植では7/26頃)。草丈は長く、茎数は多く、葉色は濃い状態にあります。

2 今後の管理

- 2回目の穂肥は、後期栄養を確保するため1回目施用の1週間後をめやすに、窒素成分で1.0～1.5kg/10aを確実に施用**してください。ただし、葉色が濃すぎる場合は施用量を少なめとしましょう。
- 出穂3日前の葉色値 (葉緑素計 SPAD-502) が31、葉色板で4を下回ると予想される場合は、出穂3日前に、窒素成分で1kg/10a以内 (※化成肥料の場合) を施用しましょう。
- 出穂の12日前頃から出穂・開花期頃は最も水が必要な時期です。**ほ場の水分状態に応じたこまめな水管理で稲体の活力低下や下葉の枯れ上がりを防いでください。**
- ほ場の乾きが不十分な場合は、暗きよの開放などの排水管理や溝の手直しに努めましょう。
- いもち病が発生しやすい状況です。早期発見と早期防除に努めましょう。
- 斑点米カメムシ類の発生が多くなっています。生息地となる農道や畦畔のイネ科雑草を出穂・結実させないよう適宜草刈りを行い、適期の薬剤防除を実施しましょう。

3 生育調査結果 (7月20日現在)

	田植	草丈(cm)			茎数(本)			葉数(葉)			葉色(SPAD)				
		本年	指標比	前年比	本年	指標比	前年比	本年	指標差	前年差	本年	指標差	前年差		
コシヒカリ	下稲塚	5/9	83	105	106	438	24	98	98	13.2	0.8	1.6	33.7	1.7	1.1
	高森	5/15	90	114	113	439	21	99	71	12.5	0.1	-0.2	38.2	6.2	1.1
	長崎	5/9	83	105	109	526	32	118	116	12.1	-0.3	-0.1	33.0	1.0	-2.7
	広島	5/16	81	103	108	357	22	80	96	12.4	0.0	0.6	32.3	0.3	-1.1
	平均		84	106	109	440	25	99	93	12.6	0.2	0.5	34.3	+2.3	-0.4
	関山	5/24	68	101	119	457	26	127	126	10.8	-0.4	0.4	41.3	8.3	5.2
こしいぶき	下稲塚	5/9	86	115	113	485	27	118	88	13.4	0.4	1.0	40.6	5.6	0.3
	長崎	5/18	82	110	125	612	31	149	140	13.4	0.4	1.3	45.0	10.0	6.7
	広島	5/13	81	108	100	374	23	91	89	13.0	0.0	0.7	38.3	3.3	-2.4
	平均		83	111	112	490	27	119	106	13.3	0.3	1.0	41.3	+6.3	+1.5

4 北陸地方1か月予報 (新潟地方気象台 7月16日発表)

- 向こう1か月の降水量は平年並か多く、日照時間は少ないでしょう。平均気温は、ほぼ平年並の見込みです。